

1. 災害時における障害のある方の現状

ユニバーサル情報誌「ひなたぼっこ」

目の不自由な方の場合、耳の不自由な方の場合、車椅子ユーザーの場合、精神障害のある方の場合、それぞれの立場を考え、思いやりのある行動で災害に強い明石のまちをみんなで作りましょう！

＜啓発資料として学校を主として配布＞



2. 観察研修

開催日時 令和3年10月15日

開催場所 しあわせの村

参加人数 13名

DVD 「眼の不自由な人にあつたら」

体験 車イス体験・視覚障がいの理解・聴覚障がいの理解

UDスポット体験

改めて生活面における障がいの不自由さや、周りの方の配慮、さらにはその理解への普及啓発の必要性を感じる研修となりました。



3. ゲストスピーカー

ユニバーサル駅事業を今後さらに活性化していくため、毎月の定例会議に「ゲストスピーチ」お願いしました！



10月27日

くららべーかりー石倉泰三様

阪神淡路大震災当時の障害のある方の被災された様子をお話して頂きました

株式会社工房ギャレット・今井友樹監督様

「明日をへぐる」バリアフリー対応についての説明やバリアフリー字幕・音声ガイドについてお話を頂きました

4. 勉強会

「共生社会の実現のため、今できることを考える」

～コロナ過でみえてきた様々なくらし～

目的：「マスク着用の徹底」「非接触対応の増加」など、日常生活に大きな変化が生まれている状況。共生社会の実現に向け、「新しくなった日常」に潜む困難や負担を当事者の方から話を聞くことで、新たな発見に繋げていく

開催日時 令和4年3月12日 9:45～11:45

開催場所 明石市生涯学習センター学習室704号

完全オンライン YouTube配信

「コロナ禍における障がいのある方のくらし」

□車椅子ユーザーの立場から

□聴覚障がい当事者の立場から

□視覚障がい当事者の立場から

□障がいを持つ子どもの親の立場から

オンライン機材のセッティング、音響、ハイブリッド字幕、文字通訳

■チームW・研修センター楠本様

■部隊音響家協会 加藤様

